

日本の内なる国際化をアートで読み解く
多国籍美術展・「わたしたちはみえている - 日本に暮らす海外ルーツの人びと - 」
2021年12月 東京都足立区にて開催！

東京都足立区を拠点に音をテーマにしたアートプロジェクトを展開する「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」のプログラムの1つ、「イミグレーション・ミュージアム・東京（以下、IMM 東京）」は、2021年12月に多文化社会をテーマにした美術展を開催します。

足立区は、東京都において著しく多国籍化が進んでいる地域であり、区内の在住外国人人口は東京23区で第3位となっています（令和3年1月1日現在）。IMM 東京は、足立区内のさまざまな場所を「移動」しながら、その場所に応じた**アートを通じて多様な文化的ルーツを持った人々との新しい出会いをアレンジしてきました。**

12月に開催される現代美術展では、**約10年間の活動の成果**として、(1)文化の多様性や複雑さ、個々人のルーツといったテーマに向き合ってきた3名の現代アーティストによる作品展、(2)公募で集まった海外にルーツを持つ市民の表現を紹介する公募展、(3)アートの手法を用いて多文化社会で実践する全国の活動団体のリサーチやアーカイブ、という3つのアプローチから現代日本の多文化社会のありようを多角的に体感する空間を立ち上げます。**さまざまな表現者や実践者と協働した本事業の集大成となる多国籍美術展に、ご期待ください。**



高山明（左）と岩井成昭（右）によるアーティストトーク（2020年）

開催概要 入場料無料

[日時] 2021年12月11日（土）～26日（日）13時～19時 ※火曜休み

[場所] 北千住 BUoY（足立区千住仲町49-11）ほか

※新型コロナウイルス感染症の状況により、上記内容は変更になる場合がございます。

イミグレーション・ミュージアム・東京（IMM 東京）とは

地域に居住する外国人と市民が現代アートの手法を用いて交流し、そのコミュニケーションの蓄積を作品としてアーカイブ化しながら、ミュージアムをつくることを目指す取り組みです。美術家の岩井成昭が中心となり、独自のコンセプトで活動を続けています。活動の最新情報は右記 QR よりご覧いただけます。



公式 WEB サイト

アートアクセスあだち 音まち千住の縁（通称「音まち」）とは

アートを通じた新たなコミュニケーション（縁）を生み出すことをめざす市民参加型のアートプロジェクトです。足立区千住地域を中心に、市民とアーティストが協働して、「音」をテーマにしたまちなかライブ、ワークショップ、トークイベントなどを展開します。日本家屋「仲町の家」も文化サロンとしてオープン中！

※本事業はアーツカウンシル東京の「東京アートポイント計画」として実施しています。

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、

東京藝術大学音楽学部・大学院国際芸術創造研究科、特定非営利活動法人音まち計画、足立区

助成：公益財団法人 朝日新聞文化財団、公益財団法人 花王 芸術・科学財団、公益財団法人 福武財団、

東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト

◆イミグレーション・ミュージアム・東京 主宰



岩井成昭 | Shigeaki Iwai

国内外の特定地域における環境やコミュニティの調査をもとに多様なメディアで作品を制作し、国際展や AIR を中心に発表。1990 年代から多文化状況をテーマに、欧州、豪州、東南アジアにおける調査を進める。2010 年からはプロジェクトベースの「イミグレーション・ミュージアム・東京」を主宰。その一方で拠点を秋田に置き、秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科の新設に参加したほか「辺境芸術」を標榜するなど様々な活動を並行して進めている。秋田公立美術大学教授、東京藝術大学非常勤講師。

◆ゲストアーティスト (50 音順)



岩根愛 | Ai Iwane

1975 年東京都生まれ。1991 年単身渡米、ペトロリアハイスクールに留学。帰国後、1996 年に独立。2006 年以降ハワイにおける日系文化に注視し、移民を通じたハワイと福島の間わりをテーマに制作を続ける。2018 年、初の作品集『KIPUKA』(青幻舎)を上梓。第 44 回木村伊兵衛写真賞、第 44 回伊奈信男賞受賞。ドキュメンタリー映画『盆唄』(中江裕司監督作品、2018 年テレコムスタッフ)を企画、アソシエイト・プロデューサーを務める。2020 年春の東北の桜を撮影した最新作『あたらしい川』を「あしたのひかり-日本の新進作家 Vol.17」(東京都写真美術館)に出展、同時に作品集『A NEW RIVER』(bookshop M)刊行。2021 年、第 37 回写真の町東川賞新人作家賞受賞。著作に『キプカへの旅』(太田出版)『ハワイ島のボンダンス』(福音館書店)。



高山明 | Akira Takayama

1969 年生まれ。アーティスト・演出家。2002 年、演劇ユニット PortB (ポルト・ビー)を結成。既存の演劇の枠組を超え、実際の都市を使ったインスタレーション、ツアー・パフォーマンス、社会実験プロジェクトなど、現実の都市や社会に介入する活動を世界各地で展開している。近年では、美術、文学、観光、建築、教育といった異分野とのコラボレーションに活動の領域を拡げ、演劇的発想を観光や都市プロジェクト、教育事業やメディア開発などに応用する取り組みを行っている。http://portb.net/

Photo: 奥祐司



李晶玉 | Jong Ok Ri

在日朝鮮人 3 世という立場から、国家や民族に対する横断的な視点を足がかりに制作を展開している。古典絵画の構図や象徴的なモチーフを借用し、マジョリティの文脈や構造にアプローチをかける試みを行っている。

お問い合わせ先 | アートアクセスあだち 音まち千住の緑 事務局

MAIL : info@aaa-senju.com WEB : https://aaa-senju.com 担当 : 韓 [aaa.senju@gmail.com]